

2011年度第1四半期業績の概況



三菱自動車工業株式会社

2011年8月1日

2011年度第1四半期業績サマリー【前年同期対比】

前年同期比で販売台数増・増収、利益はすべて黒字化

	FY10 1Q 実績①	FY11 1Q 実績②	差 ②-①	(単位: 億円、千台) 【ご参考】 FY11 1H 6/13公表値
売上高	4,037	4,319	+282	8,600
営業利益	-45	122	+167	50
経常利益	-58	103	+161	0
当期利益	-118	43	+161	-100
販売台数(小売)	230	267	+37	510
販売台数(卸売)	240	252	+12	505

※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度第1四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数実績【前年同期対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年同期対比増減》

- 4
(-11%)

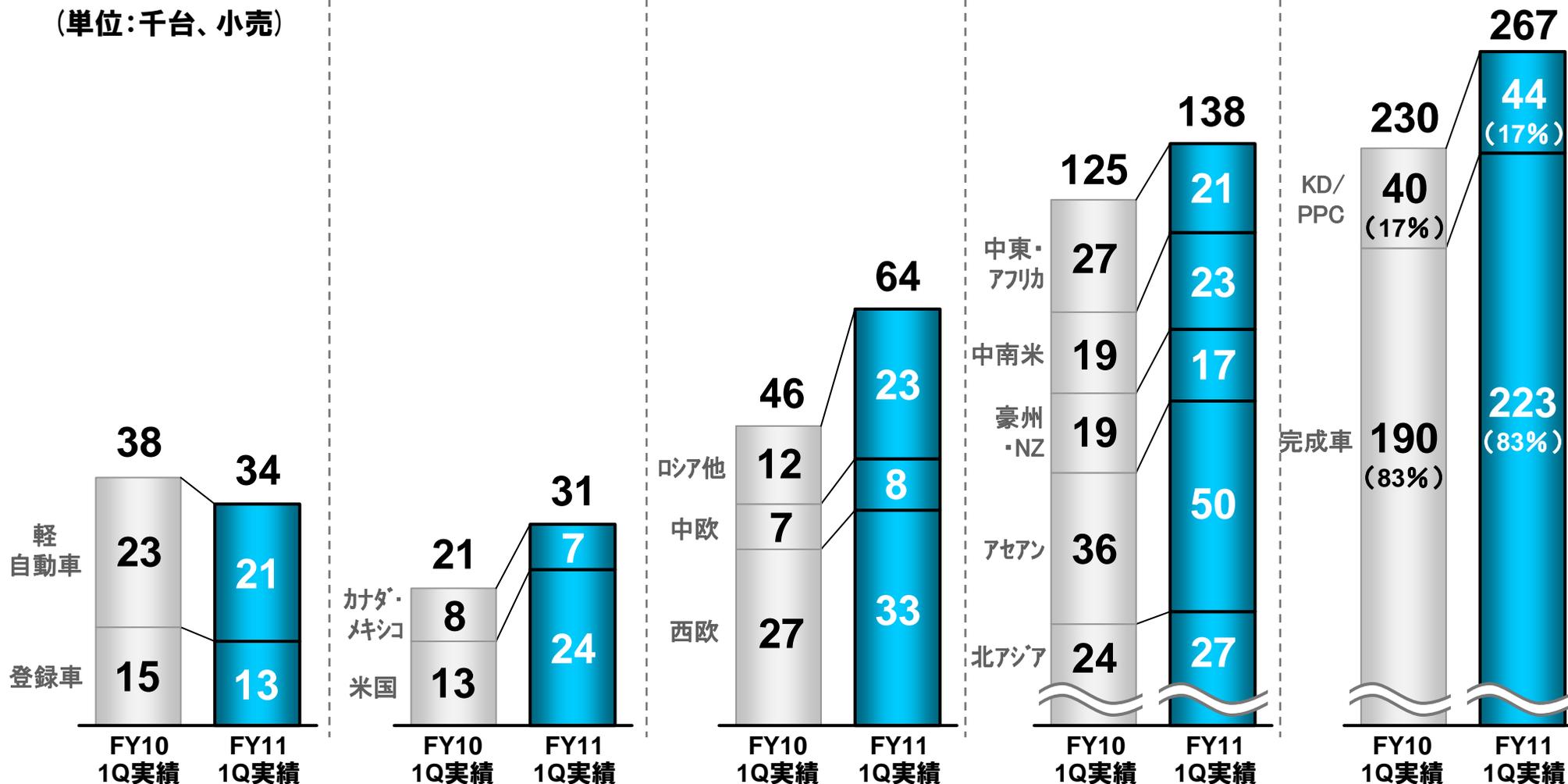
+10
(+51%)

+18
(+39%)

+13
(+11%)

+37
(+16%)

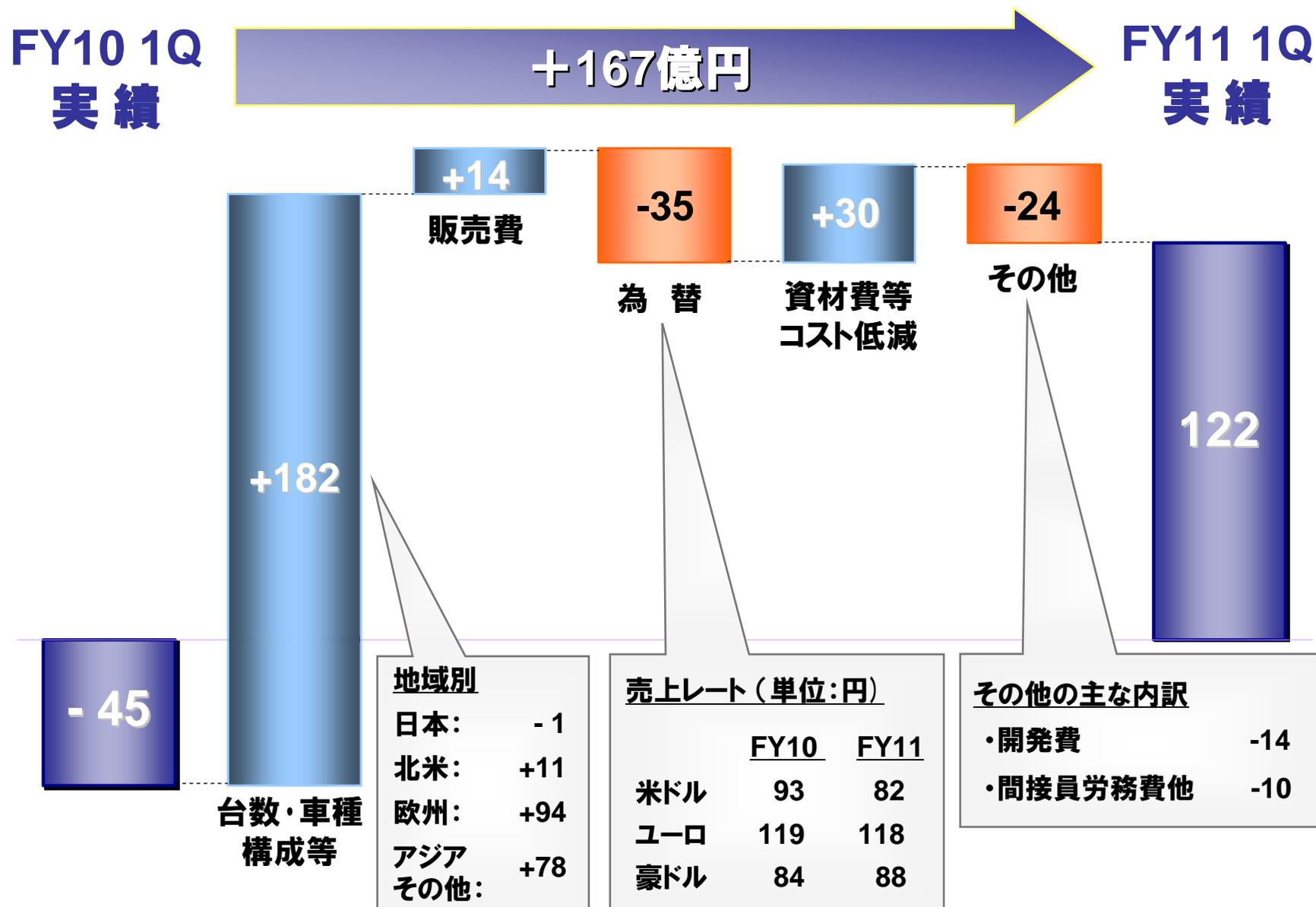
(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度第1四半期販売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)



經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY10 1Q 実績①	FY11 1Q 実績②	差 ②－①
営業利益	- 45	122	+167
営業外損益	- 13	- 19	- 6
經常利益	-58	103	+161
特別損益 及び法人税等	- 60	- 60	±0
当期利益	- 118	43	+161

主な内訳

- ・利息収支 +4
- ・持分法投資損益 - 9

主な内訳

- ・特別損益 + 8
- ・法人税等 - 8

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

	FY10末 ('11/3月末)	FY11 1Q末 ('11/6月末)	増減
資産合計	13,125	12,933	-192
うち 現金預金	3,171	3,209	+38
売上債権	1,144	975	-169
たな卸資産	1,893	1,926	+33
負債合計	10,644	10,468	-176
うち 仕入債務	2,786	2,679	-107
有利子負債	3,979	4,009	+30
純資産合計	2,481	2,465	-16

1Q生産実績は、前年同期実績および震災前計画を上回る

■ グローバル生産

- 1Q生産実績 : 25.4万台 前年同期比 103% (震災前計画※1比 102%) ※1 震災前に策定した社内計画
- 2Q生産計画 : 1Q生産実績を上回る 27万台を計画 前年同期比 93%

◆ 国内生産

- 上期は、車種・仕様に制約は残るものの、前年同期比約 9割の見通し
- 下期は、生産正常化に伴い前年同期実績を約 2割上回る計画とし挽回を図る
 - ◇水島製作所軽自動車ラインを 9月末から 2直化 ◇国内全工場で増産対応のため約 800名増員
- 年度見通しは、前年度実績を上回る計画
- 節電の取り組み 国内工場・事業所で休日振替を始めとする節電対策を実施中

◆ 海外生産

- 上期、下期ともに前年同期実績を約 1割上回る見通し

補足 2010年1Q生産実績 : 24.6万台 (公表値 25.6万台から海外生産の他社ブランド車を除く)
2010年度 生産実績 : 110万台 (公表値 118万台から海外生産の他社ブランド車を除く)

2011年度上期業績見直し修正 【6/13公表値対比】

上期(2Q累計)業績見直し:1Q実績を踏まえ見直し
 年度業績見直し:現時点では変更せず、6月13日公表値通り

(単位: 億円, 千台)

	FY11 上期 6/13公表値①	FY11 上期 8/1公表値②	差 ② - ①	FY11通期 6/13公表値
売上高	8,600	8,800	+200	19,500
営業利益	50	180	+130	500
経常利益	0	130	+130	400
当期利益	-100	0	+100	200
販売台数(小売)	510	518	+8	1,075
販売台数(卸売)	505	510	+5	1,173

※注) 販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。

2011年度1Q実績：販売台数増加・増収、利益はすべて黒字化

- **販売台数(小売)：前年同期比 16%増加の267千台** 北米・欧州・アジア他で前年度を上回る
- **販売台数(卸売)：前年同期比 5%増加の252千台** 北米・欧州・アジア他で前年度を上回る
- **売上高：前年同期比 7%増収の 4,319億円** 卸売台数増加が寄与
- **利益：営業利益 122億円、経常利益 103億円、当期利益 43億円**
※前年同期比でそれぞれ 167億円、161億円、161億円の改善で黒字化
円高影響や開発費など費用の増加を台数・車種構成等の改善などで打ち返す

上期(2Q累計)業績見直し：1Q実績を踏まえ見直し 年度業績見直し：現時点では変更せず、6月13日公表値通り

- **第1四半期実績が計画を上回り推移していることから、上期業績見直しを見直し。**
【8月1日公表値】 小売台数 518千台、卸売台数 510千台、売上高 8,800億円
営業利益 180億円、経常利益 130億円、当期利益 ±0
※ 6月13日公表値からそれぞれ 130億円、130億円、100億円の増額
- **年度業績見直しは現時点では変更せず、6月13日公表値通り。**
今後も慎重に為替動向、生産・販売動向などの経営環境を注視するとともに、
都度適切な対策を打つことで 計画達成を目指す。

添付資料



台数カウント定義の変更について【お知らせ】

変更内容

■ 新カウント(2011年度から)

・小売台数：自社ブランド車のみを小売台数とする。

「ロシア・ウクライナ」を「ロシア他(ロシア・ウクライナ・カザフスタン)」へ変更。

・卸売台数：卸売台数にOEM供給台数を含める。

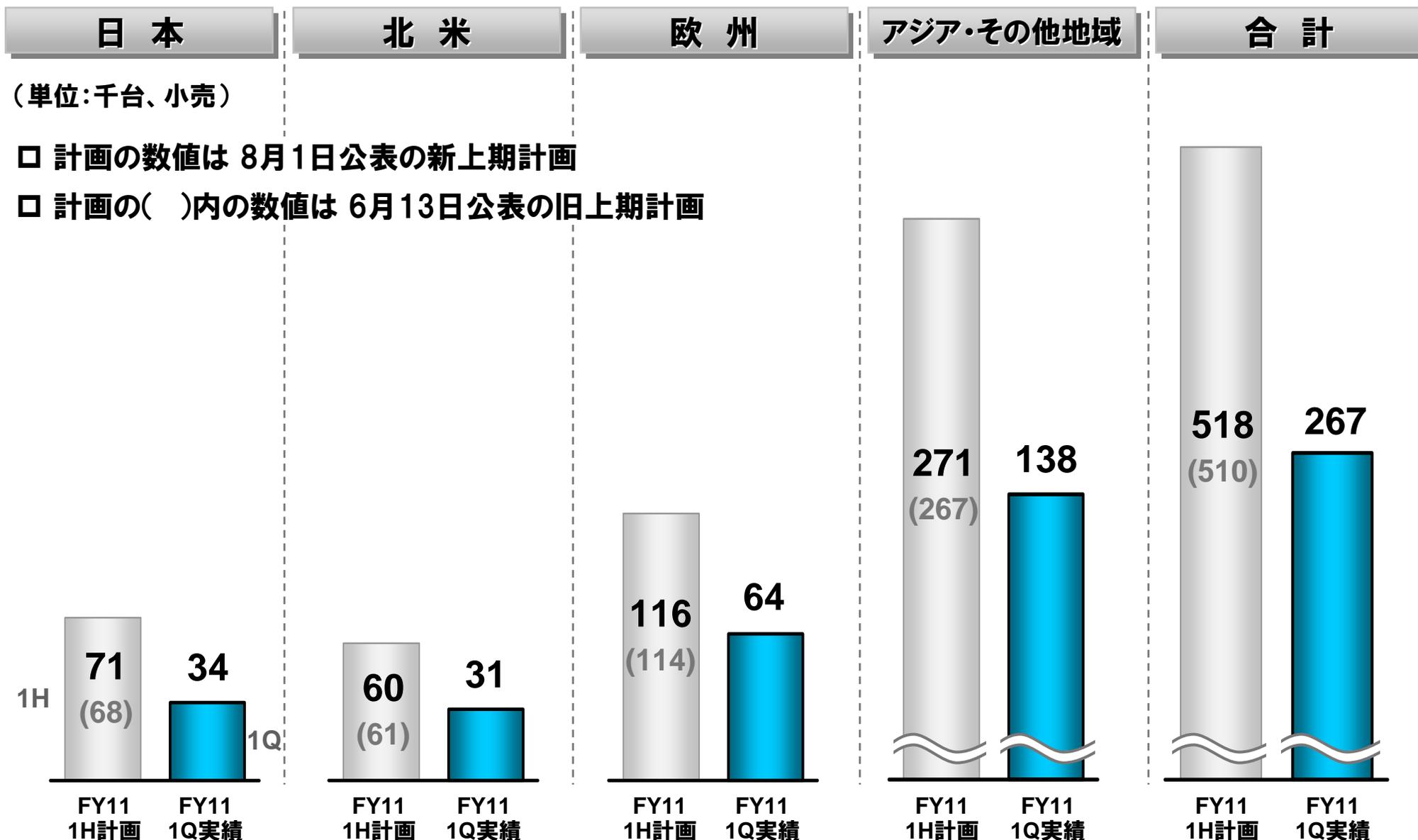
■ 旧カウント(2010年度以前)

・小売台数：当社が設計した商品で、ロイヤリティ収入がある場合は他社ブランドも小売台数に含める。

・卸売台数：OEM供給台数を除く。

FY2010 1Q(実績)	旧カウント		増減台数		新カウント
小売台数	257千台	-	27千台	=	230千台
卸売台数	228千台	+	12千台	=	240千台

地域別販売台数【上期計画/1Q実績:小売ベース】



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、(添付資料ご参照) 11年度第1四半期販売台数実績は速報値。

地域別業績サマリー【仕向地別、1Q前年同期対比、2011年度見通し】

(単位: 億円)

	FY10 1Q 実績①	FY11 1Q 実績②	増減 ②-①	6/13公表 FY11 上期 計画	8/1公表 FY11 上期 計画	6/13公表 FY11 通期 計画
売上高	4,037	4,319	+282	8,600	8,800	19,500
- 日本	824	761	-63	1,500	1,550	3,700
- 北米	393	413	+20	900	900	1,900
- 欧州	1,053	1,177	+124	2,200	2,250	5,100
- アジア・ その他	1,767	1,968	+201	4,000	4,100	8,800
営業利益	-45	122	+167	50	180	500
- 日本	-23	-24	-1	-40	-20	70
- 北米	-67	-69	-2	-180	-160	-330
- 欧州	-102	-35	+67	-130	-90	-170
- アジア・ その他	147	250	+103	400	450	930

2011年度業績見通しサマリー 【10年度/11年度、上期/通期別】

(単位: 億円, 千台)

	FY2010		FY2011		
	上期実績	通期実績	6/13公表 上期計画	8/1公表 上期計画	6/13公表 通期計画
売上高	8,647	18,285	8,600	8,800	19,500
営業利益	69	403	50	180	500
経常利益	70	389	0	130	400
当期利益	-49	156	-100	0	200
販売台数(小売)	476	987	510	518	1,075
販売台数(卸売)	521	1,098	505	510	1,173

※注) 販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照)

電気自動車の展開拡大

	2009年度 販売実績: 1.6千台	2010年度 販売実績: 8.2千台	2011年度 販売計画: 25千台(国内10千台、海外15千台)
日本	<p>・フリート販売 09年7月～</p> <p>『i-MiEV』</p>  <p>販売実績: 1.4千台</p>	<p>・一般販売 10年4月～</p> <p>販売実績: 2.6千台</p>	<p>・「M」「G」の2グレード展開 11年7月～</p>  <p>軽商用電気自動車 『MINICAB-MiEV』 11年内～(予約受付中)</p> <p>軽商用EV</p>
	海外	<p>09年秋～</p>  <p>欧州向け『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 0.2千台</p>	<p>右ハンドル車(香港、イギリス他)</p> <p>10年10月～</p> <p>欧州(左ハンドル市場含む)</p> <p>PSAプジョー・シトロエン社向け</p> <p>販売実績: 5.6千台</p>

海外

6月、MMNA(三菱・モーターズ・ノース・アメリカ)、米国ハワイ州と電気自動車の普及に関する覚書を締結

6月、台湾・新竹県政府、中華汽車、三菱商事と電気自動車の普及に関する覚書を締結

7月、MMNA本社、三菱電機製太陽光発電システムによるEV用充電スタンドを導入

7月、タイの電力会社2社と電気自動車の実証走行試験の実施に合意



太陽光発電を利用したEV用充電スタンド(MMNA駐車場)

電気自動車の普及へ向けて

電気自動車なら、“運ぶ”が全て新しくなる。

MINICAB - MiEV 2011年内にデビュー予定



Photo:実証試験車



積載性	最大積載量はガソリン車と同じ350kg(2名乗車時)	たっぷりスペースで荷物がしっかり積める
走行性	モーターは、ゼロ回転から最大トルクを発生	重い荷物を積んでも発進ラクラク
静粛性	モーターだからとっても静か	早朝や深夜でも騒音が気にならない
信頼性	i-MiEVで培った技術が活かしている	毎日安心して乗ることができる
経済性	ガソリン不要でランニングコストを軽減	電気代だけで、経済的



電気自動車なら、“運ぶ”がすべて新しくなる。

MINICAB MiEV

2011年内に、デビュー予定。



軽商用電気自動車『MINICAB-MiEV』
(ラッピングイメージ)

コンパクト1BOX デリカ D:2

Debut!



DELICA
D:2

Big

みんなで乗っても、**広い!**

運転しやすいコンパクトカーなのに、
5人で乗ってもゆっつりの室内空間。
Hウォークスルーで、
シート間の移動だってスムーズ。



Useful

お買い物やお出かけにも、**便利!**

両側スライドドアだから、
狭い場所での乗り降りにも便利。
あんなところにも、こんなところにも、
便利な収納スペースがいっぱい。

Eco

おサイフにも、環境にも、**Eco!**

クラストップ*1の低燃費だから、
環境にもやさしくてうれしい。
みんなの安全も考えた、安心機能も充実。

*1: クラス=コンパクトハイブリッドワゴン(燃料消費率1.5L以下・全長1,550mm以上の2列乗員5ドアワゴン)。2011年2月現在、自社製。

広くて、使える、コンパクト1BOX

日産自動車と軽自動車企画・開発の合併会社を設立



世界戦略車『グローバルスモール』の投入

■ 『グローバルスモール』のコンセプト

- ・ 「小型」「低価格」「低燃費」の世界戦略車
- ・ 需要の伸長が見込まれる新興国、
ダウンサイジング化が進む先進国双方へ投入
- ・ 三菱モデルラインナップのエントリーモデル
大人5人の居住空間を確保したスモールカー
- ・ 新開発1.0ℓ & 1.2ℓ 3気筒エンジン +
可変バルブタイミング機構 (MIVEC※1)
アイドルストップシステム (AS&G※2)
減速エネルギー回生システム
空気の抵抗低減と車体の軽量化

■ 生産工場

- ・ タイに建設中のMMTh第3工場
- ・ 中国での現地生産を推進

■ 販売開始

- ・ タイ市場に投入(2012年3月)
- ・ その後、タイから世界各国へ出荷



『三菱 コンセプト グローバル スモール』



MMTh 建設中の新工場

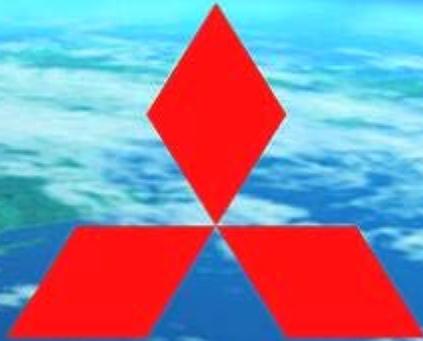
※1 MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

※2 AS&G : Auto Stop & Go

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



mitsubishi MOTORS